

会 議 録

会議の名称	桶川市立桶川西中学校 第2回学校運営協議会	
開催日時	令和3年7月29日(水) (開会) 15:30 (閉会) 17:45	
開催場所	桶川西中学校 図書室	
出席者氏名(委員)	磯田輝昭 佐々木和明 青木友子 樋口文恵 水村芳博 田口 武 百瀬 勉 和久津俊明 清水雅一 藤井幸生	
欠席者氏名(委員)	佐藤 旭央	
傍聴者	0 名	
議題	令和3年度の学校運営協議会の運営について	
	協議結果	意見の概要
協 議 等 要 旨	<p>令和3年度の学校運営協議会の運営について</p> <p>(1)本年度の学校経営方針について(校長)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校経営方針の説明 本校の課題 <ul style="list-style-type: none"> ①不登校の生徒が多い 全校で令和2年度3月は23人, 令和3年度1学期は8名であった。 ②学力の向上 昨年度, 県の正答率より低い結果であった。県の正答率が一つの目安となる。 ③新型コロナ対策 1学期は感染者なし。感染対策の消毒作業で教員の負担が増している。 ④教員の負担 技術と家庭の教員が不在。年度当初時間外勤務が200時間を超える教員がいた。現在は時間外勤務時間は全般的に減少傾向にある。 <p>(2)今年度の運営協議会の活動について(教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> 既存の組織を有効活用しながら, 5つの部を設置する。 <ul style="list-style-type: none"> ①環境整備部 ②学習支援部 ③安心安全部 ④部活動支援部 ⑤地域行事部 	<ul style="list-style-type: none"> 3月までは学校のHPに部活動の予定表が毎月掲載されていた。4月から更新の様子がなく, 保護者としてはHPに掲載されていると助かる。 SCや相談室の活用をもっと考えていいのではないか。保護者がSCや相談室の存在や活用方法を知らないことも考えられる。また, 相談室を利用することをためらう傾向も地域や保護者・生徒によってあるために利用率が低いことも考えられる。担任の先生が自分だけで抱えてしまう傾向があるのではないのか。責任感があるなしではなく, 自分だけで解決しようとせず担任の先生も保護者も積極的にSCや相談室の利用をアプローチしていいのではないか。 SCや相談室につなげることで, 担任や学校が生徒を手放したと思われているのではないか。 将来的に, 学力向上の課題を克服するために, 学習支援部の活動を具現化できるといい。 学習支援の人材をボランティアとして募集するが, その募集の仕方について

	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は引き続き①環境整備部と⑤地域行事部の2つの部の活動を行っていく。 ・環境整備部は、西中サポーターズ(OWSUP!)の活動を生かしていく。部長を桶西サポーターズ会長青木様をお願いします。 ・地域行事部の活動は、地域行事が実施可能な状況になったところからはじめていく。その連絡調整役として、部長を上日出谷西部地区長田口様と川田谷地区区長会会長水村様をお願いします。 	<p>ては、学校側の希望も含めて慎重に行った方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習支援の人材に資格が必要であるかどうかや、指導内容や方法を含めて学校側の希望を明らかにして調整して行く必要がある。時間をかけて準備していかなければならない。 ・学習支援部の活動については、今年度を準備期間として、来年度から活動を開始することを目標とする。
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和3年度第2回学校運営協議会次第 (2) 令和3年度第2回学校運営協議会(冊子) <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度学校運営協議会名簿 ・桶川市学校運営協議会規則 ・学校運営協議会運営の手引き ・令和3年度学校教育目標・学校経営方針 ・西中生のための3指針・5心構え・3行動 ・令和3年度桶川市立桶川西中学校・学校経営12柱と8重点 ・桶川市立桶川西中学校学校運営協議会実施要項(案) 	